

ヒューマンエラー・ポカミス対策講座

不良・手直し、事故を未然に防ぐ仕組みづくり

研修期間 2026年1月27日(火)～1月29日(木)

定員 / 受講料 25名 / 32,000円

日数 / 時間数 3日 / 21時間

対象者 経営幹部、管理者

- ヒューマンエラーに悩む企業の方
- ヒューマンエラー対策を考えたい方

研修のねらい

ヒューマンエラーやポカミスは、製品・サービスの品質低下や手戻りを発生させ、生産性低下を招くだけでなく、時には重大な事故に繋がることもあります。安全で高効率な職場環境を整えるためには、ヒューマンエラーを抑制する仕組みづくりが必要不可欠であると言えます。

本研修ではヒューマンエラーやポカミスが発生する要因を理解し、その対策と生産性向上を両立する方法を学びます。また、実際に自社の課題を抽出し、職場を改善するためのアクションプランを作成します。

研修の特徴

- 組織全体でヒューマンエラー対策に取り組む方法を学びます。
- ポカミスを防ぎながら、効率を上げる作業の改善方法を学びます。
- 自社のヒューマンエラー・ポカミス対策のアクションプランを作成します。

カリキュラム概要 ※カリキュラム内容は、都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

日付	時間	科目	内容	講師 (敬称略)
1/27 (火)	10:20～10:30	開講式 オリエンテーション		合同会社サカタ経営 代表社員 坂田 卓也
	10:30～12:00	ヒューマンエラー が会社に及ぼす 大きな影響	ヒューマンエラーの発生要因を理解した上で、ヒューマンエラーが大きな災害につながる事を理解し、会社に及ぼす影響を確認します。 ◆ヒューマンエラーとは ◆ヒューマンエラーを引き起こす4つの要因 (人的要因、作業的要因、設備・システムの不備、管理面での不備) ◆ヒューマンエラーが会社に及ぼす影響	
	13:00～14:00			
	14:00～18:30	組織で取り組む ヒューマンエラー 対策	人的要因から発生するヒューマンエラーの原因を追求し、ヒューマンエラーを発生させない組織風土の構築を考えます。 ◆ヒューマンエラーが起こる人的要因 ◆ヒューマンエラーをなくす組織行動 ◆自社の組織活動の現状を明らかにする【演習】 ◆ヒューマンエラーをなくす組織活動を考える【演習】	
	18:45～20:15	交流会	受講者同士の懇親と情報交換	
1/28 (水)	9:00～12:00	ポカミスの 発生原因を学ぶ	作業的要因から発生するヒューマンエラー(いわゆるポカミス)が、なぜ発生するのか、またポカミスが会社に与える影響を考えます。 ◆なぜ、ポカミスは発生するのか？ ◆ポカミスが与える影響 ◆ポカミスが発生しやすいシチュエーションを学ぶ ◆ポカミスの事例研究【演習：自社の事例、他社の事例】	
	13:00～14:00			
	14:00～18:00	作業を改善して 効率をあげながら ポカミスを防ぐ	ポカミスの発生状況を理解した上で、作業面での対策を考えます。また、ポカミス対策が生産性の向上につながることを学びます。 ◆ムダ、ムリ、ムラの違い ◆ムダ取りと生産性向上【演習】 ◆生産性向上とポカミス削減の両立 ◆自社が行うポカミス対策の相互紹介【演習】	
1/29 (木)	9:00～12:00	その他のヒューマン エラー&ポカミス対策	人的要因、作業的要因以外のヒューマンエラー対策を学びます。 ◆設備・システムの対策【事例、演習】 ◆管理的な要因対策	
	13:00～16:00	自社のヒューマン エラー&ポカミス 対策の検討(演習)	研修での学びを踏まえて、自社のヒューマンエラー対策を検討します。 ◆職場の問題点の洗い出し ◆自社での課題の抽出 ◆ヒューマンエラー&ポカミス対策のアクションプラン作成	
	16:00～16:20	終講式		

講師紹介



坂田 卓也 (さかた たくや) 合同会社サカタ経営 代表社員

大日本印刷株式会社の生産総合研究所やエリーパワー株式会社の生産技術部を経て、経営コンサルタントとして独立し、現在の合同会社サカタ経営を設立。経営工学(IE)を活用した生産性の改善、品質管理(QC)や品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化などの支援を行っている。支援実績は印刷関連、金属加工、食品加工、繊維と多岐にわたる業界の実績がある。中小企業診断士、技術士(機械部門)、エネルギー管理士(熱部門)、第3種電気主任技術者等を保有。